

【 第7回 女子ユースアジア選手権 】

2017年8月18日 ~29日

開催国 : インドネシア ・ 都市 : ジャカルタ

試合結果報告 8 月 20 日 (日)

JAPAN	VS	CHN(中国)
16	前半	10
15	後半	11
	第一延長	
	第二延長	
31	合計	21

個人得点

No.	名 前	前半	後半	合 計
1	千葉 夏希			0
2	橋口 和佳奈			0
3	高木 奈央	4	2	6
4	阿礼 梨那			0
5	阿部 美幸	1	1	2
6	伊藤 愛莉	5	1	6
7	服部 沙也加			0
9	安田 つぐみ			0
10	岡田 彩愛	4	3	7
11	山路 麻愛		1	1
12	下地 真央			0
13	守屋 葵			0
14	関 洋香	-	-	-
15	谷藤 悠		1	1
16	柿添 まどか	-	-	-
17	佐藤 優花		5	5
18	江本 ひかる	1	1	2
19	宇治村 唯	1		1
	合計	16	15	31

戦評

初戦は中国との対戦。今大会のチームについては全く情報のない状態だったため、様々なカテゴリーの中国戦から攻守の分析を行い、試合に臨んだ。

日本は攻撃からスタート。24秒、高木が鋭いミドルを放つが惜しくも枠外へ。しかしここから、伊藤のミドル、GK千葉のナイスキーピングからの高木の速攻、高木の連打で一気に4-0と中国を引き離す。その後、中国に得点を返されながらも、守屋の積極的なDFから相手のミスを誘い、GK千葉のナイスセーブから速攻を決めるなど、16分12秒、8-4とする。そこで中国がタイムアウトを請求し、185cmの長身PVを起点として攻撃を仕掛けてくる。日本は守り切れない場面もあり退場者を出す、そこからGK下地がしっかりと止めるなど、中国に流れを渡さないまま前半を16-10で終了する。

ハーフタイムでは、中国DFが日本のミドル対策で高く出てきているため、裏の空間を使うことを確認し後半へ備えた。

後半、中国は、185cmと175cmの長身PVIによるダブルポスト攻撃などを仕掛けてくる。フロウターも175cmとかなり大きい、ハーフタイムで確認した攻撃を起点に、岡田や佐藤の1対1などで加点していく。中国もセンター・ポストを起点とした攻撃から日本の退場を誘うが、日本はGK下地の度重なるナイスキーピングで退場の時間帯を乗り切る。さらに積極的な6-0DFから相手のミス誘い、速攻に繋げた。

体格では中国に劣る日本だが、個々の能力とチームワークで初戦勝利を収めることができた。

報告記入者 :

安藤 希沙